



令和6年  
5月1日号

No.  
174

発行/京都府  
久御山町議会



### 令和6年定例会 3月会議

- 構築された絆を響鳴させる 令和6年度予算可決…2
- 4会派が登壇 代表質問 ……………11
- 5議員が登壇 一般質問 ……………16
- あかるく! 頭を使って! あきらめない! ……………26

[表紙写真: みんな元気に登園してね (さやまこども園 入園式)]

4月会議にて4月17日から348日間の会期が決定しました

### 6月会議の予定

- 6月13日(木) 議案提案
- 14日(金) 一般質問
- 17日(月) 一般質問
- 20日(木) 総務事業常任委員会
- 21日(金) 民生教育常任委員会
- 25日(火) 予算決算常任委員会
- 28日(金) 議案採決

\*日程は追加・変更することがあります。

# 構築された絆を響鳴させる

## 令和6年度予算可決

定例会  
3月会議

本会議や予算決算  
常任委員会の映像配信  
久御山町議会ホームページから  
録画映像がご覧いただけます。



令和6年定例会3月会議を2月29日に開会し、町長から令和6年度当初予算や令和5年度補正予算、条例制定・改正などの提案がありました。審議の結果は全て可決となりました。  
代表質問では4会派、一般質問では5議員が施政方針や町政課題について質問しました。  
なお、このページでは当初予算について掲載しています。補正予算や条例制定・改正などについては6〜7ページ、委員会での審議内容は8〜9ページに掲載していますので、あわせてお読みください。

### 全世代・全員活躍 まちづくりセンター 整備事業

19億8,635万円  
一部国庫補助

全世代・全員活躍の基盤となるまちづくりの観点から、従来の公民館の社会教育・生涯学習拠点機能を向上させ、地域コミュニティ形成の場として「全世代・全員活躍まちづくりセンター」を官民連携の視点を取り入れて整備する。

令和5年度末に実施した入札において、落札した業者の施工により同センターの建設を実施し、令和7年度開館に向けて施設備品を調達する。

**Q** 公民館で使用していた備品などは再利用できないのか。  
また、税の負担はどのように抑えていくのか。

**A** ソーラーカーポートを既製品にするなど、予算の絞り込みもおこなっている。椅子や机は残っていないが、今後しっかりと選定をしていきたい。



## 令和6年度 当初予算

会計		予算額	対前年度増減率(%)	
一般会計		100億7,900万円	34.7%	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	19億1,000万円	▲0.1%	
	三郷山財産区	1,200万円	▲41.1%	
	介護保険	保険事業勘定	15億8,130万円	▲4.6%
		介護サービス事業勘定	1,400万円	16.7%
	後期高齢者医療	3億6,930万円	18.3%	
企業会計	水道事業	9億5,147万円	1.1%	
	下水道事業	17億3,261万円	34.6%	
合計		166億4,968万円	22.2%	

\*万円未満は四捨五入(▲=減額)

### 消防機械器具等整備事業 (高規格救急車購入)

**4,538万円**  
一部国庫補助

高度化する救急業務に対応するため、高規格救急車1台を更新配置する。

- Q** 更新予定の救急車の走行距離は。また、その救急車をオークションに出す予定は。
- A** 走行距離は11万km以上。また、心電図モニターなどの精密機器の保守管理サービスが終了、または廃番となっており、今後部品の調達が困難となることから、安定的運用を目的として、今回更新を図るべきと考える。費用対効果の高い特殊車両でもないことから、今回のオークションは考えていない。



### 行政改革推進事業 (窓口申請書作成システム導入)

**234万円**  
1/2国庫補助

第7次行政改革大綱に基づくDX推進計画により、マイナンバーカードや運転免許証などに記録されている情報を複数の申請書などに自動印字することができる申請書等作成支援システムを試行的に住民票などの窓口で2基導入し、窓口の簡便化・時間短縮を図る。

- Q** 試行的に導入ということだが、これはどのように解釈すればよいのか。
- A** 令和6年度は住民課に2台の導入を考えている。今後利用が見込めるのであれば、他の窓口にも広げていきたい。



### 人口ビジョン・総合戦略推進事業 (多子世帯住宅支援事業補助金)

**420万円**  
1/2府補助

三世代近居・同居住宅支援補助と多子世帯住宅支援補助をおこなう。

- Q** 多子世帯住宅支援補助について、年収の上限が750万円未満となっているが、これは夫婦の合計額なのか。また、その根拠や合計額の緩和については。
- A** 対象は世帯年収が750万円未満で、これは京都府の補助要件に照らし合わせて決定した。緩和については今後考えていきたい。



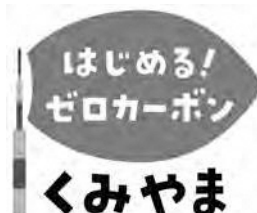
## 温暖化防止活動事業（環境エコアクションポイント事業）

50万円

幅広い世代が環境について考えるきっかけとしてポイント制度を導入する。

**Q** エコアクションポイントの内容は。

**A** 様々なエコ活動に対してポイントを付与し、各商品に交換可能な仕組みとする。



## 公園維持管理事業（防犯カメラ設置）

80万円

公園利用者の安全確保と公園における犯罪の防止を目的として、自治会の希望を調査し、都市公園に防犯カメラを設置する。

**Q** 防犯カメラの設置場所や今後の予定は。

**A** 安全確保と犯罪防止を目的として、自治会の要望を踏まえ、警察と協議をしながら、必要と思われる都市公園への防犯カメラ設置を進めていく。



## 学校施設維持管理事業（中学校体育館空調等整備事業）

1億2,884万円  
一部国庫補助

久御山中中学校体育館において、空調の設置や太陽光発電設備の整備、屋根への遮熱塗料の塗布をおこなう。

**Q** 中学校の空調設備についていろいろな熱源が考えられる中、プロパンガスとなった経緯は。

**A** 体育館は災害時に避難所となることから、ライフラインを意識している。電気だと度々途絶えることがあるが、プロパンガスだとそれも少ない。また、安価であることも理由の1つ。

## 高齢者生活支援事業（介護人材定着支援事業補助金）

60万円

町内の介護サービス事業所における介護人材の定着を支援するため、継続して同一法人に就業する介護人材（正規職員）を対象に、継続年数に応じて補助金を支援する。

**Q** 今回就業2年目が対象となっているが、今後3年目、4年目と毎年支給するのか。

**A** 今回の制度設計では、令和5年度を基準年度として、2年目を迎えられた方と、5年目を迎えられた方が対象。毎年支給するわけではない。



◆ 菅田 祐介議員

使用済み紙おむつの園内収集の実施が決まったが、予算措置が遅い。子育て支援を軽視している。

◆ 岩田 芳一議員

防災・減災対策の強化で安全・安心に、物価高騰対策で住民の下支えとなるような予算を期待する。

◆ 大宮 竹志議員

人手不足の現状。介護人材定着支援事業が功を奏し、町内で永く活躍していただけることに期待。

◆ 島 宏樹議員

各種住民負担軽減策を引き続き継続され、25年ぶりとなる100億円超の大型予算に期待する。

◆ 田井 稔議員

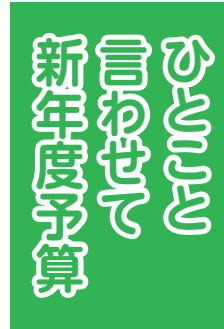
大規模地震災害に備え、自助、共助、公助の役割を住民全体で共有できるシステムの構築を。

◆ 巽 悦子議員

新市街地開発に注ぐ住民の税額を明確にしている。町の計画は住民不在で進めてはならない。

◆ 塚本 五三藏議員

団塊世代の全員が後期高齢者となり、高齢者福祉で認知症初期集中支援事業の推進を求める。



◆ 辻 徹議員

水害、地震等の防災や防犯カメラ設置等の防犯対策と『絆の響鳴』予算に大いに期待する。

◆ 戸川 和子議員

子どもから高齢者まで、真の豊かさを実感でき、安心・安全で災害に強いまちづくり予算を望む。

◆ 中井 孝紀議員

人口減少問題は危機的であり、子育て世代への支援策として、給食費無償化を早急に実施すべき。

◆ 中野 ますみ議員

大型開発優先よりも地域公共交通の利便性を。町民の声を聞き、願い実現の町政を。

◆ 濱口 隆志議員

まちづくりセンター、みなくなるタウンなど、目に見えて変わっていく久御山町の未来に期待する。

◆ 樋口 房次議員

生活不安を解消する持続可能な自治体運営と、70周年を契機として住民交流の活性化も求める。

◆ 松本 義裕議員

回復しつつある『絆』を響鳴させられるような予算執行に、全力で取り組まれることに期待。

反対 巽 悦子議員

住民サービス後退予算には反対

民間委託のさらなる拡充と指定管理者制度の活用、官民連携事業の推進、税金や国保税の滞納者を京都地方税機構への移行、消防事業や水道事業の府下での広域化を進める予算などは、住民サービスの後退である。

各保険料の軽減のための一般会計からの法定外繰り入れ、のつてこバスの復活、小学校体育館空調設備の早期設置を求める。

賛成 濱口 隆志議員

100億円を超える積極的な予算

町制施行70周年となる令和6年度予算は、まちづくりセンターの建築費用が本格的に計上され、25年ぶりに100億円を超える積極的なものとなっている。

また、良好な財政状況の中「絆の響鳴」を主軸においた各種負担軽減施策がバランス良く示されている。今後のさらなる力強いまちづくりの推進に期待したい。

# 令和5年度 補正予算

## ふるさと応援推進事業

5,740万円

ふるさと納税の寄附金が増加したことによる返礼品や基金への積み立て。

**Q** ふるさと応援基金の積み立てはこれでいくらになったのか。

**A** ふるさと応援基金残高は3億3,589万円となった。



## 都市計画推進事業

3,062万円

田井市田線交差点改良工事、市田新珠城交差点工事、田井市田線用地測量・建物調査業務に関わる増額。

**Q** 国費補助がありながら、なぜ今回3,000万円ほど必要となるのか。

**A** 用地買収が難航したが、国費を利用するため前倒しで用地測量・建物調査をしたところがあり、その分必要となった。

## 住民税均等割のみ課税世帯支援給付金給付事業

3,837万円  
全額国庫補助

物価高騰の負担感が大きい低所得者（住民税均等割のみ課税世帯）への負担軽減を図る。

**Q** 支給漏れの予防対策はおこなっているのか。

**A** 町のホームページや広報紙で周知を図っている。また、一定期間申請がなければ個別に通知し、できるだけ受け取ってもらえるように努める。

## くみやまマラソン大会支援事業

▲182万円

くみやまマラソン中止による減額。

**Q** くみやまマラソンが中止となったが、参加者からの問い合わせはあったのか。

**A** 申し込み受付に関する問い合わせはあったが、大会が中止となることへの問い合わせはなかった。

# 戸籍関係証明交付事務

**220万円**  
全額国庫補助

ふりがな対応などにかかる戸籍システム改修による増額。

**Q** ふりがな記載後、確認をどのようにおこなうのか。

**A** 最終的には令和7年度以降となるが、住民の皆さまに通知し、確認していただく予定。

## 令和5年度 補正予算

区 分		補正額	補正後の額	
一般会計（第6号）		6億5,181万円	89億5,164万円	
特別会計	国民健康保険〈事業勘定〉（第5号）	▲407万円	19億1,626万円	
	三郷山財産区（第3号）	1万円	4,588万円	
	介護保険（保険事業勘定）（第4号）	▲3,986万円	17億2,236万円	
	介護保険（介護サービス事業勘定）（第4号）	2万円	1,422万円	
	後期高齢者医療（第2号）	349万円	3億3,047万円	
企業会計	水道事業（第5号）	収益的収入	▲2,105万円	6億934万円
		収益的支出	▲1,583万円	6億7,333万円
		資本的収入	▲810万円	9,048万円
		資本的支出	▲2,542万円	2億2,091万円
	下水道事業（第4号）	収益的収入	▲974万円	8億8,270万円
		収益的支出	▲4,304万円	8億2,645万円
		資本的収入	▲2,996万円	1億8,933万円
		資本的支出	▲5,415万円	3億6,307万円

令和5年度補正予算は、年度末精査が主な内容です。

\*万円未満四捨五入

## 条例制定、改正など

- ・ 町長等の給与の額の特例に関する条例制定
- ・ 職員の育児休業等に関する条例一部改正
- ・ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例一部改正
- ・ 水道事業給水条例一部改正
- ・ 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例一部改正
- ・ 消防団員等公務災害補償条例一部改正
- ・ 全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事請負契約の締結
- ・ 国民健康保険税条例一部改正
- ・ 福祉医療費の支給に関する条例一部改正
- ・ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正
- ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正
- ・ 介護保険条例一部改正
- ・ 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等一部改正
- ・ 城南衛生管理組合規約の一部変更

# 総務事業 常任委員会

REPORT

3月7日

3月会議では、総務事業常任委員会（樋口房次委員長）に7議案が付託され、審査しました。質問の多かった議案を抜粋し、主な質疑と答弁を報告します。（採決結果は10ページに掲載）

**議案第8号  
町長等の給与の額の特例に関する  
条例制定について**

町行政運営の信頼を著しく失墜させた元会計年度任用職員による私的流用事業の発生を重く受け止め、町長、副町長、教育長の給料月額を10分の1、1カ月減額するもの。

**Q** 現在スポーツ協会のあり方検討委員会では協議中の事案ではないのか。

**A** 委員会では準公金の事務執行のあり方について協議している。

**Q** 監督責任に対する議案だが、問題を起こした職員への対処はどうなっているのか。

**A** 職員への対応はあり方検討委員会での検証のうえ、必要であれば別途、職員分限懲戒処分審査等委員会でも協議することになる。

**議案第27号  
全世代・全員活躍まちづくりセ  
ンター建築工事請負契約の締結  
について**

**Q** 建物に係る環境基準の評価は。省エネで58%。創エネで30%の合計で75%を超えており、ニアリーゼエの評価となっている。

**A** 地元企業の参入はあるのか。落札企業の1社は地元企業なので、考慮されると考えている。

**Q** 地元企業の参入はあるのか。落札業者の1社は町商工会員であるが、契約要件は満たしているのか。

**A** 契約上の要件は満たしている。契約金額は今後変更になったりしないか。

**A** 物価高騰も見込んだ金額であると考えているので、想定していない。

## 休会中の事務調査

## 町内のスタートアップ企業について

1月24日

総務事業常任委員会は、京都フュージョニアリング株式会社の方をお招きし、事業内容を調査しました。

### ■京都フュージョニアリング株式会社

京都大学の研究開発技術をベースにして2019年に設立された会社で、昨年9月14日に久御山町内に研究開発拠点「京都市リサーチセンター」の開設をプレスリリース。核融合反応を利用したフュージョンエネルギーによる環境負荷の少ない技術を確認し、商用化をめざしている技術者集団。

### ■核融合反応とは？危険性は？

原子力発電でおこなわれている核分裂反応とは基本的な原理が違う。技術が確立すれば、海水から燃料を取り出すことや、温室効果ガスを排出しない、高レベル放射性廃棄物を生成しないなどの夢の技術といえる。

「京都市リサーチセンター」では加熱装置、熱取り出し装置などの核融合炉周辺装置の開発やプラントエンジニアリングを手がけ、その中の熱サイクルシステムの研究開発と発電試験プラント「UNITY-1」を建設する。久御山町内では核融合実験をおこなうことはなく（おこなうことはできない）、放射性物質が発生することも、使われることもない。

### ■質疑応答

**Q** 町内事業所はいつから稼働するのか。

**A** 2月から開始しようと考えている。試験は、3月から4月からおこなうことができ、それ以外のところは、今年の夏から冬と考えている。



京都フュージョニアリング株式会社「京都市リサーチセンター」  
(下津屋富ノ城)



# 民生教育 常任委員会

REPORT

3月8日

3月会議では、民生教育常任委員会（巽悦子委員長）に7議案が付託され、審査しました。質問の多かった議案を抜粋し、主な質疑と答弁を報告します。（採決結果は10ページに掲載）

## 議案第11号 国民健康保険税条例一部改正 について

医療費の増加や被保険者数の減少などにより現行税率の据え置きが困難となった。今後4年間をかけて標準保険税率に近づけるよう税率を改正する。

**Q** 収入のある方の負担が大きい所得割を減らして均等割を増やすなどの議論はしたのか。

**A** 所得割は、負担する能力に応じて算出するもの。均等割・平等割は、受益者負担の観点から算出するもの。標準保険税率との差がより大きい所得割を少しでも標準保険税率に近づけるよう改正した。

**Q** 令和7年度になっても、低所得者の負担軽減は継続されるのか。

**A** 継続する。

## 議案第15号 介護保険条例一部改正 について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、所得段階第1～3の介護保険料を引き下げる。

**Q** 所得段階第1～3の保険料が、引き下げとなる主な要因は、低所得者の軽減を強化するための減額とした。

**A** 介護認定で顕著に増えている状態区分は、要介護2と要介護4の人が、増えている。本町では、要支援2の人が多く、要介護1の人が少ない傾向。

**Q** 介護認定で顕著に増えている状態区分は、要介護2と要介護4の人が、増えている。本町では、要支援2の人が多く、要介護1の人が少ない傾向。



## 休会中の事務調査

## 「旧山田家住宅」について（現地調査）

1月25日

民生教育常任委員会は、東一口地区内の「旧山田家住宅」について、現地に赴き調査しました。

### ■これまでの経過

平成22年4月、国登録有形文化財建造物に登録された。その後、平成25年8月、当主・24代目の山田賀繼氏より本町に寄附された。

### ■「旧山田家住宅」とは

干拓された巨椋池の南西で東一口の集落の中ほどに位置する。山田家は本山田と呼ばれ、江戸時代には御牧郷の13カ村をまとめていた大庄屋で、巨椋池漁業権を取りまとめる総帥の役割を果たしていた。

住宅の敷地は、東西40m・南北30mで、北側と東側は道路に面している。木津川の堤防が切れても浸水しないように、切石が道路面より約1.4m高く積み、長屋門正面には階段を施している。

### ■住宅の建築は、18世紀後半？

#### ◆考察① 〈主屋の座敷の襖絵〉

襖絵に画家・法眼探素守熙ほうがんたんそしゅゑの落款が残されており、活躍時期が18世紀後半であること。

#### ◆考察② 〈幣束へいすくに、「安永2年」〉

敷地内の蔵解体時、当時棟上げの際に収めていた幣

束に「安永2年」（1773年）に工事をおこなった記録が残っていた。

### ■今後の保存・活用計画は

保存活用計画検討委員会を設置し、魅力の発信や保存、活用の必要性についての啓発をおこなう。



旧山田家住宅（東一口）を調査

## 3月会議 全議案の採決結果

### 賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(注) 表中の○及び×は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案/議員	日本共産党		公明党		くみやまみらい			@くみやま				会派に属さない議員		結果		
	巽悦子	中野ますみ	戸川和子	岩田芳一	島宏樹	松本義裕	辻徹	濱口隆志	樋口房次	塚本五三藏	大宮竹志	田井稔	芦田祐介		中井孝紀	
令和6年度当初予算	一般会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計〈事業勘定〉	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度補正予算	一般会計(第6号)	×	×	-	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事請負契約の締結	×	×	-	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	国民健康保険税条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業給水条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※松本議長は、賛否同数以外は採決に加わりません。

### 全員賛成の議案

令和6年度当初予算	三郷山財産区特別会計
	下水道事業会計
令和5年度補正予算	国民健康保険特別会計〈事業勘定〉(第5号)
	三郷山財産区特別会計(第3号)
	介護保険特別会計(第4号)
	後期高齢者医療特別会計(第2号)
	水道事業会計(第5号)
	下水道事業会計(第4号)
条例	町長等の給与の額の特例に関する条例制定
	職員の育児休業等に関する条例一部改正
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例一部改正
	福祉医療費の支給に関する条例一部改正
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正
	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例一部改正
消防団員等公務災害補償条例一部改正	
その他	城南衛生管理組合規約の一部変更

# 代表質問

定例会3月会議では、町長の施政方針演説を受けて、4人の議員が会派を代表して代表質問をおこないました。

質問者	質問項目	ページ
公明党議員団 とがわ かずこ 戸川 和子 議員	①防災・減災 ②まちづくり ③学力向上対策	P12
くみやまみらい しま ひろき 島 宏樹 議員	①本町の行財政経営 ②町長公約「歴史の創造くみやま夢実現計画」55の 宣言	P13
@くみやま ひぐち ふさつ 樋口 房次 議員	①人口減少問題と人口フレーム ②魅力あるまちづくり ③協働のまちづくり	P14
日本共産党議員団 たつみ えつこ 巽 悦子 議員	①住民の健康保持 ②水道事業 ③新市街地「みなくるタウン」整備 ※ ④南大内地区のホテル建設 ※ ⑤消防の広域化 ※ ⑥「土地利用規制法」における注視区域指定 ⑦福祉 ※	P15

※印の質問事項は紙面の都合上掲載されておりません。録画映像をご覧ください。  
各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、代表質問の動画がスマートフォンやタブレット端末で  
ご覧いただけます。

## 令和6年度 各分野の重点施策（町長の施政方針より）

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ①魅力と個性にあふれた強い産業の育成     | ⑥住みなれた場所でいきいき暮らせる地域づくり |
| ②人と企業が定着したくなる基盤の整備     | ⑦地域ぐるみの安全・安心のまちづくり     |
| ③安心して子どもを産み、育てられる環境づくり | ⑧地域力を生かした協働のまちづくり      |
| ④地域の力を結集した教育の推進        | ⑨健全で安定した行財政運営の継続       |
| ⑤人と人がふれあい、尊重し合う心の育成    |                        |

### 定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継  
と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会

検索

4会派が町政方針を問う



公明党議員団  
とがわ かつこ  
戸川 和子  
動画はこちら

Q 木造住宅耐震改修補助金  
750万円の内容は

A 対象者150万円上限で  
5件分

質問

本年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの木造住宅が倒壊し、大規模な火災も起こり、家が押しつぶされお亡くなりになられた方、また、負傷された方が多くおられた。

建物の耐震化は必要だと強く感じました。

今回の予算で拡充事業として、木造住宅耐震改修補助として750万円計上されたが、内容は。

総務部長

能登半島地震を踏まえ、今後の大地震に対する備えとして、住宅

の耐震化をさらに促進するため、町の補助金を上限25万円から50万円へ拡充する。京都府の補助金も同様に拡充されることから、令和6年度から2年間に限り対象者への補助は150万円が上限となる。また、件数も3件から5件に増やし、総額750万円とした。



能登半島地震で倒壊した木造建物

Q 物価高騰や人手不足による事業への影響は

A 動向を注視し、適切に判断しながら取り組む

質問

全世代・全員活躍まちづくりセンター整備事業や新市街地みなくるタウン整備事業、まちのにわ構想の中央公園拡充整備事業は、巨額の費用が予測されている。

そのような中で、ウクライナ危機による原材料の高騰、急激な円安の進行などにより、未曾有の資材高騰に建築業界も翻弄されている。

物価高騰・資材高騰・人手不足などが予想される中、本町への影響は。

町長

今後、実施計画中の各種事業にも影響を及ぼすおそれがあるため、その動向を十分に注視し、工期を十分確保するなど適切に判断し、事業に取り組んでいく。

質問

3つの事業における、国庫補助金などの見込みは。

町長

各事業とも国、京都府と十分に協議調整し、事業に要する補助金や交付金が充当できるように努める。

Q 小・中学校の学力の現状は

A 学年が上がるにつれて学力が伸び悩む状況

質問

昨年の全国学力テストの結果は大変厳しいと聞いているが、小・中学校の学力の現状は。

教育長

昨年4月に小学校6年生と中学校3年生におこなった全国学力学習状況調査の結果、全国の正答率と比較して小学校では、国語は全国をやや下回ったが、算数は全国平均と同等。中学校では、国語、数学とも全国より下回った。

このように、学年が上がるにつれ学力が伸び悩む状況。

質問

短期集中講座、ゆめスタの小学校5、6年生実施の考えは。

教育長

小学生にも効果的ではないかと考えている。中学生の講座の回数などとともに、検討する。



くみやまみらい  
しま 島 ひろき 宏樹  
動画はこちら

Q 令和6年度予算に  
対する町長の思いは

A 各種事業に対し攻めの  
姿勢で臨んでゆく

質問

「絆の響鳴予算」として、極めて積極的な当初予算を打ち出した令和6年度予算に対する信賞町長の思いは。

町長

「響鳴」という言葉は、「心が響き合い増幅され、成長し、形づくられていく」姿、「構築された絆と絆が広く町内外に鳴り響く」姿をイメージした令和6年度予算で、そのような姿が実現できるようにこの言葉を使った。

この絆の響鳴を推進するため、全世代・全員活躍まちづくりセン

ター整備事業をはじめ、5つの重点政策とともに、「豊かな自然と活力ある産業が共生する環境都市くみやま」の実現を進める環境施策、私の3期目の公約、「歴史の創造『く・み・や・ま 夢実現計画』55の宣言」と、第5次総合計画の実現に向け、大きな1年であり、各種事業に対し攻めの姿勢で臨みたい。

質問

第5次総合計画も残り2年となった。目標の達成状況は。

町長

重点プロジェクトや基本計画に掲げている主要なものは、おおむね推進できたが、みなくなるタウンの整備や中央公園の再整備、内水排除対策などの重点政策は、今後、大きく事業が展開していく見込みである。

各々にある課題を克服し、事業の達成に向け、引き続き鋭意もって取り組む。

質問

現在進んでいるビッグプロジェクトは、まだまだ道半ばである。ビッグプロジェクトの完遂のためにも、責任を持って最後まで取り組むことを願う。そのためにも、次の4期目に向けての出馬に対する信賞町長の気持ちは。

町長

住民の皆さんの理解と支援をいただけるのであれば、4期目の町政に挑戦し、久御山町のさらなる発展に向け、身を賭して働かせていただきたい。

Q 危機管理担当管理職を  
配置する思いは

A 防災力を高め関係部署  
との協力体制を強化

質問

施政方針で、防災力の強化として、新たに危機管理担当の管理職を配置する表明があった。

これは、会派くみやまみらいから要望してきたことであり、大変大きな期待を持っている。

新たに危機管理担当の管理職を配置することについて、町長の思いは。

町長

現在は防災安全係に消防職員を1名配置し、災害対応を強化している。さらに防災力を高めるため、本年4月から危機管理専門に精通した経験豊富な人材を危機管理の担当課長として配置し、関係部署との協力体制を強化したいと考える。



久御山町総合防災訓練



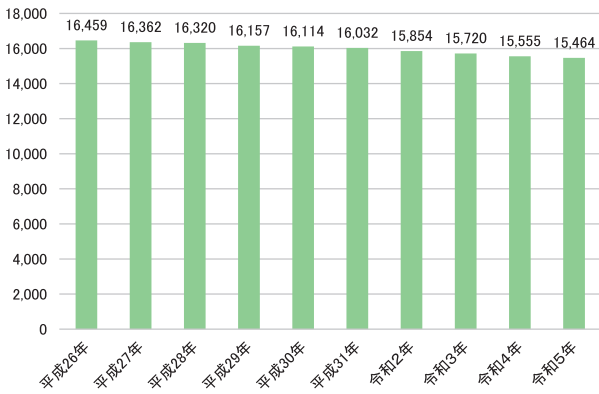
@くみやま  
ひぐち 房次  
ふさづく  
樋口 房次  
動画はこちら

Q みなくるタウンの人口増は想定どおりか

A 1400人の人口増となるよう進める

質問  
みなくるタウン住街区計画は、事業化検討パートナーが決定したことで、具体的な集約人口の目途がついた。想定どおりの人口増となるのか。

町長  
現在の人口は約1万5300人。住街区促進ゾーンで1400人増加すれば、めざす1万6000人に達する。ゾーン全体において、集合住宅、優良田園住宅、戸建て住宅で、1400人の人口増となるよう進める。



久御山町の人口の推移

質問  
町は、特に子育て支援に力を入れてきた。教育過程での成長支援にも取り組んでいることも高く評価されているが、定住には結びついていない。子育て支援策を定住促進と同義とするのであれば、その効果は。

町長  
本町独自の施策を実施しているが、コロナ禍の影響もあって、転入者増加や出生数増加には至っていない。情報発信をしながら、子育てしやすい環境を目指し、住みたい、住み続けたいまちづくりが大きな課題である。

Q 魅力あるまちづくり、町長の創意工夫は

A 公約の達成と財源確保、変化へ対応してきた

質問  
町長は就任3期目の最終年度を迎えた。在職中の魅力づくりにおける創意工夫について聞く。

町長  
事務事業のスクラップ・アンド・ビルドとともに公約の達成と厳しい財政状況からの財源の確保、時代のニーズと変化に対応してきた。

質問  
コロナパンデミックに翻弄された約4年間だった。もう1期続けてこそ首長としての務めを果たすことになるのでは。

町長  
挑戦をさせていただけなのであれば、これからのまちづくりにおける課題を整理し、次期総合計画である第6次総合計画を令和6、7年度の2カ年をかけて策定して

いきたい。

Q 地域コミュニティ希薄化の中、絆の再構築は

A 能登半島地震を鑑み、共助の意識が大変重要

質問  
地域コミュニティが希薄化し、自治会加入率が50%を割った。協働の機能低下として大きく受け止めなくてはならない。絆の再構築の具体案は。

総務部長  
コロナ禍で地域活動が制約され、希薄化した人間関係や地域コミュニティを取り戻す様々な事業を実施した。自治会活動に加え、住民のグループが活発に活動され、新たなつながりを感じる。

町長  
能登半島地震を鑑み、公助が届かないことがあり、自助意識と、各家庭での対策、地域での共助意識とともに、自治会などの地域コミュニティが大変重要であると改めて感じている。



日本共産党議員団  
たつみ えつこ  
巽 悦子  
動画はこちら

### Q 京都市国保運営協議会の方向性は

### A 保険料水準統一に向け加速化されると聞く

#### 質問

国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律の目的は。

#### 民生部長

国民健康保険法第1条に、「社会保障及び国民保健の向上に寄与すること」と規定。

高齢者の医療の確保に関する法律第1条には、「国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ること」と規定されている。

#### 質問

本町の国保加入者の状況、保険料の統一に向けた京都市国保運営

協議会の方向性は。

#### 民生部長

本町の令和4年度決算数値の被保険者の所得階層別世帯数のうち、所得200万円以下の世帯は、1439世帯。

保険料の府下での統一については、京都市においても、保険料水準の統一に向けた取り組みが加速化されると聞いている。

### Q 地下水の有機フッ素化合物は大丈夫か

### A 原水で2カ所の地下水、浄水で検査している

#### 質問

地下水の汚染問題として、有機フッ素化合物のPF<sub>6</sub>O<sub>4</sub>A（ペルフルオロオクタン酸）とPF<sub>6</sub>O<sub>3</sub>S（ペルフルオロオクタンスルホン酸）は大丈夫か。

#### 事業環境部長

これまで金属メッキ処理や泡消火薬剤、界面活性剤など幅広い用途に使用されてきた有機フッ素化合物の一つ。人体への影響は、コ

レステロール値の上昇・発がん性・免疫系との関連が報告されているが、確定的な知見はなく、令和2年に厚生労働省は、水質管理上留意すべき項目として、PFOS、PFOAの合算値で50ナノグラム/ℓ以下とする暫定目標値が設定された。

本町では、原水で2カ所の地下水と浄水のPFOS、PFOAの水質検査を実施し、いずれも暫定目標値以下であった。今後も国の動向に注視し、適切な水質管理に努める。

### Q 内閣府の意見聴取に、どのように答えたのか

### A 検討過程のため、回答については控えたい

#### 質問

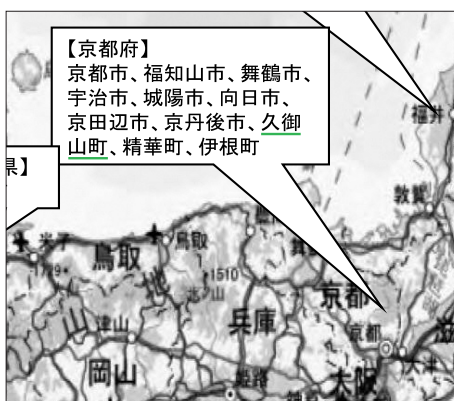
本町が土地利用規制法（重要土地等調査法）注視区域の候補地とされた。2月には、意見聴取結果整理のため、それまでに関係地方公共団体に意見聴取をおこなうとのこと。どのように答えたのか。

#### 総務部長

内閣府からの意見聴取は、本町にもあり、区域の範囲について、1月末に回答した。

今後、意見聴取の結果や関係行政機関との協議、土地利用状況審議会の審議を経て、初めて確定する検討過程であり、回答については控えたい。

住民への説明会については、国が責任を持つて判断し、実施すべきものであると考えている。従って本町として実施する考えはない。



＝「注視区域」の候補地＝  
「重要土地調査法」に基づき、活動拠点（大久保駐屯地）周囲1000mの区域として、久御山町の一部地域が、「注視区域」の候補地とされた。  
区域指定された場合は、区域内の土地・建物で防衛関係施設等の機能を阻害する行為がおこなわれていないか、内閣府は調査できる。

第8回土地利用審議会参考資料「4回目の区域（注視・特別注視）指定の候補」より



# 5議員が 登壇

## 一般 質問

# ここが 聞きたい

一般質問では、行政全般について町長などに質問しました。

質問者	質問項目（質問方法）	ページ
あした とうすけ 議員 芦田 祐介	①元職員によるスポーツ協会の金員私的流用 ②公益社団法人久御山町シルバー人材センター	一問一答 P17
つかもと いさお 議員 塚本 五三藏	①災害時の福祉避難所への段ボールベッド 配備 ②災害時のトイレ用の水確保 ③認知症初期集中支援事業	一問一答 P18
はまぐち たかし 議員 濱口 隆志	①久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化 対策実行計画「区域施策編」含む） ②森林環境税	一問一答 P19
なかい たかのり 議員 中井 孝紀	①地震対策 ②水道料金の値上げ	一問一答 P20
なかの ますみ 議員 中野 ますみ	①インボイス制度（適格請求書保存方式） ②不登校への対応	一問一答 P21

各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

**一括質問** 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。

**一問一答** 一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問できる。議員の質問時間は30分以内。

### 定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会

検索





あしだ ゆうすけ  
芦田 祐介  
動画はこちら

Q 町広報紙の配布漏れ  
改善策を示すべきでは

A 配布業者に指導の  
徹底を依頼する

質問

町の財政援助団体である公益社団法人「久御山町シルバー人材センター」（以下「シルバー人材センター」）が5万円以上の金員を受領したときに発行する領収書に収入印紙を貼付していたことがわかった。

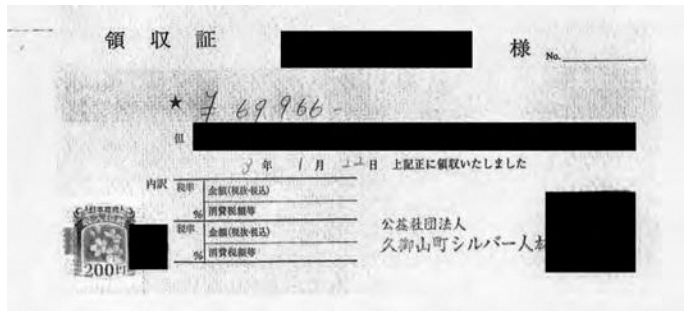
公益社団法人は、収益事業に関して作成する領収書であっても「営業に關しない領収書」に該当するため、非課税（収入印紙の貼付は不要）というのが国税庁の見解である。

本年1月に町に指摘したが、そ

の後の対応は。

民生部長

領収書に収入印紙を貼付する必要がある旨をシルバー人材センターの事務局に伝え、事務処理の再確認を指示した。



誤って収入印紙が貼付された領収書

質問

管理体制が甘い。監事からの指摘はなかったのか。

民生部長

監事2名による監査はあったが、本件については指摘はなかったと聞いている。

質問

シルバー人材センターに全戸配布を委託している町の広報紙「広報くみやま」が届かないという声がある。  
配布漏れをなくす抜本的な改善策を示すべきでは。

総務部長

シルバー人材センターと連携を図りながら、状況の把握、会員への徹底した指導を依頼していく。

Q 教委がスポ協に告訴を  
勧告すべきでは

A 告訴の判断はスポ協が  
するべきものである

質問

教育委員会生涯学習応援課の元会計年度任用職員（懲戒免職）が町スポーツ協会（以下「スポ協」）の金員を私的に流用していた問題について質問する。

告訴権を有しているのは被害者であるスポ協である。

スポ協は、捜査機関に告訴状を提出したのか。教育委員会から告

訴状の提出を勧告するべきでは。

教育次長

スポ協から告訴状は提出されていない。告訴の判断はスポ協がするものである。教育委員会が勧告すべきものではない。

質問

学識経験者など第三者によって構成される「スポーツ協会の事務執行あり方検討委員会」が立ち上がったが、公認会計士の委員は町職員OBである。

利害関係者に該当しないか。忖度・遠慮が発生するのでは。

教育次長

日本公認会計士協会から推薦をいただいた方なので利害関係者ではない。



1月に開催された検討委員会の初会合



つかもと いさお  
**塚本五三藏**  
動画はこちら

**Q** 認知症初期集中支援  
推進事業の取り組みは

**A** しっかりと高齢者福祉  
に取り組んでいく

初動対応の地域包括支援センター職員の資質の向上を図ることで、デリケートな家族関係の中の根深いところの相談に対応ができると考える。

地域包括支援センターの職員体制については、介護のエキスパート職員を養成するために、民間事業所を退職された適材な人材を活用するなど、現行人材制度の活用と職員採用のあり方も検討しながら、強化に努めたい。

高齢化の背景を含め、しっかりと高齢者福祉に取り組んでいく。

**質問**  
認知症初期集中支援事業に本格的に取り組むのか。また、認知症サポート医師の依頼やコーディネーターの配置、地域包括支援センターの役割が重要だが、体制の強化は。

**町長**  
病院の認知症サポート医師がチーム員となり、かかりつけ医と連携を図りながら、認知症疾患医療センターや地域の認知症キャラバンメイトの意見を聞き、当事者と家族から相談を受ける初動対応の工夫を図る。



東京都の認知症パンフレット

**民生部長**

認知症が疑われる高齢者の家族からの相談で、地域包括支援センターで対応が難しいものについては、認知症の医療職・介護職の専門家チームが家庭を訪問し、関係性を築き、当事者と家族の心配ごとをサポートする。

**Q** 災害時の福祉避難所に  
段ボールベッド備蓄は

**A** 段ボールベッドの備蓄は  
前向きに検討する

て前向きに検討する。

**Q** 災害時のトイレ用の水  
確保は雨水タンクで

**A** 水資源の有効活用と制度  
周知に努め促進する

**質問**

災害時にトイレ用の水の確保として雨水タンクを設置し、体調や衛生環境の悪化対策や防災に有効活用できないか。

**総務部長**

災害時の長期間の断水は、衛生面で悪影響を及ぼし健康被害にもつながると認識している。

自動パッキ式トイレの購入や車載型移動式の「トイレカー」をレンタル業者と協定締結するなど、様々な方法で対応を図る。

**総務課長**

雨水タンクは断水時に生活用水として利用が望める。

防災・環境意識の向上、雨水貯留施設設置費補助制度の取り組みと周知に努め、メリットを強調、水資源の有効活用を促進する。



はまぐち **濱口** たかし **隆志**  
 動画はこちら

**Q** 久御山町環境の日にデコ活宣言を表明しては

**A** ゼロカーボンシティ宣言とともに表明する

**質問**

令和5年に「久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」を含む）」を策定され、施政方針の中で、6月5日の久御山町環境の日に「ゼロカーボンシティ宣言」をするという意向を示された。

今回「ゼロカーボンシティ宣言」をするに至った経緯は。

**事業環境部長**

国が2050年までに二酸化炭素実質排出ゼロ、カーボンニュートラルを表明した。事業所を多くかかえる本町にと

っては、大きな決断となるところだが、本町がめざすべき将来像「豊かな自然と活力ある産業が共生する環境都市くみやま」を実現するためにも、久御山町環境の日である6月5日に宣言することが必要であると判断した。

**質問**

ゼロカーボンシティ宣言に合わせて、デコ活（※）宣言を表明してみてはどうか。

また、町長の循環型社会構築に向けた今後の方向性は。

**町長**

住民の皆さん・事業者の皆さんと協働し、脱炭素につなげることが重要であるため、6月5日のゼロカーボンシティ宣言と併せて、デコ活宣言も表明する。

カーボンニュートラルという非常に高い目標の達成に向けては、様々な課題があるが、計画に定める久御山町がめざすべき将来像を実現するため、住民の皆さん・事業者の皆さんと一緒にオール久御山で取り組んでいく。

（※）「COOL CHOICE」を引き継ぎ、脱炭素な暮らしの実現を目指す、環境省が定めた新しい国民運動の愛称。

**Q** 森林環境保全基金残高517万円の使い道は

**A** まちづくりセンターの備品等へ活用する

**質問**

令和6年度から徴収される森林環境税。森林整備や木材の利用普及啓発のために使われるわけだが、使い道がないなど、問題点も指摘されている。徴収に先行して譲与されている森林環境譲与税のこれまでの具体的な使い道は。

**事業環境部長**

小学校で児童が使う学習机の天板交換、出産祝い品の離乳食にも使える木製スプーンなどの配布、クロスピアくみやまの待合スペースの椅子更新、あいあいホールと療育教室の木製の遊具や収納ケースの購入などで、残りは森林環境

保全基金に積み立てた。令和4年度末現在、基金残高は517万円となっている。

**質問**

森林環境保全基金残高517万円の使い道と今後の木材利用の方向性は。

**事業環境部長**

まちづくりセンターの備品などへ活用する。また、適正な木材利用などにより、国内における森林整備の推進に寄与できればと考えている。



出産祝いの木製スプーン



なかい たかのり  
**中井 孝紀**  
動画はこちら

**Q** 戸別訪問で耐震化を進めるべき

**A** 丁寧に説明し、耐震改修につなげたい

**質問**

能登半島地震による死者の多くが建物倒壊による圧死である。

本町には旧耐震基準の木造住宅が1666棟あり、住宅耐震を進めることが命を守る最優先の対策になる。

従来からの耐震補助金の利用は昨年一昨年も利用者が0人のため、戸別訪問で実態を把握し耐震化を進めるべきでないか。

**総務課長**

実態を把握することは非常に重要だと考えているが、一軒一軒行政による戸別訪問は難しい。

まずは耐震診断を受けていただくことを丁寧に説明させていただき、耐震化の方法も幅広に提案し家主にアプローチを図り耐震改修につなげたい。

**質問**

火災が発生した原因の一つにブレーカーが下りないことがあり、地震に対応した感震ブレーカーの設置を推進していくべきでないか。

**消防署長**

震災に伴う火災においては電気火災が主なものといわれており、今後感震ブレーカーなどの設置を進めるよう、周知徹底をさせていただきます。



能登半島地震での救助活動

**Q** 一般会計の繰り入れで耐震化を進めるべき

**A** 一般会計で賄える確約もなく平準化が重要

**質問**

水道料金の中には基本料金と従量料金があり、家族の多い人が沢山使うと単価が上がる体系になっている。

一人住まいの人が20㎡までの量なら単価40円だが、4人家族ぐらにならばいきなり単価が145円となる。

よく「私たちの家は家族が多いので水道料金が安い」と言われるが、単価が高くなっているからである。普通に、使った量×同じ単価が平等だと思うが、なぜ増えれば上がるのか。

**上下水道課長**

単価を一律にすれば少量の利用者の負担が上がる形になってしまいうため、少量の利用者に配慮する料金体系になっている。

今後の料金改定に当たっては、言われている部分も含めて検討していきたい。

ていきたい。

**質問**

平成28年と29年の時には料金改定の影響を最小限に抑えるため、一般会計から繰り入れていた。水道管の耐震化を進めることは住民の命を守ることになるため、一般会計からの繰り入れをすべきでないか。

**町長**

一般会計からの繰り入れはその当時実施したが、原則として受益者負担の原則から国が示している基準内の範囲でおこないたい。

水道管に関しては一般会計で全て賄える確約もなく、平準化により計画的に進めていくことが大変重要である。



水道管の耐震化工事



なかの  
中野ますみ  
動画はこちら

**Q** 制度開始から何件が課税事業者になったか

**A** 免税事業者から課税事業者に130件

質問

本町ではインボイス制度開始から何件が課税事業者になったか。

事業環境部長

令和5年12月末インボイス登録事業者は410件、免税事業者から課税事業者になられたのは130件。

質問

インボイス制度が実施されて5カ月になるが「確定申告における2割特例」や「仕入れ税額控除」は、時限的なもので、年度の経過と比例して業者の納税負担が増し

廃業の増加が早くも予測されている。これを当然としてとらえるのか。

産業・環境政策課長

仕入れ税額控除について、8割特例が3年間、その後5割特例が3年間あり、その6年間に事業の基盤を整えておいてインボイスに対応できる経営をしていただく。

質問

担税能力を超えた税負担と実務の増加、小規模事業者を支援するシステム導入の補助は。

産業・環境政策課長

現時点では考えていない。国などの補助金で小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金がある。対応でかかる費用に対して上乗せがされる。そういう制度も活用して継続をしていただきたい。



**Q** 教育委員会では不登校問題をどう見ているか

**A** 未然防止プランとして2つの取り組みがある

質問

本町でも不登校児童・生徒が令和4年度に46人となっている。教育委員会では不登校問題をどのように見ているか。

教育次長

不登校の原因は、本人・家庭・環境の要因などが複合的に重なり表出するものであると考えている。今年度、不登校児童生徒未然防止プランとして、2つの取り組みをおこなっている。1つ目は臨床心理士やソーシャルワーカーの積極的な活用。2つ目はデジタルコンテンツの導入。学校教育の観点だけでなく福祉課、子育て支援課、生涯学習応援課とも連携を強化し包括的に進めていく。

質問

文部科学省では不登校対策で通常の学校より柔軟な学びが可能な

学びの多様な学校（いわゆる不登校特例校）を増やす目標を掲げている。本町も設立しては。

学校教育課長

文部科学省の教育課程特例校という形で、かなり大きなハードルになると思われる。今でもゆるゆるのゆるゆるのゆるゆるで対応している。

教育長

中学校のほっとルームでは、例えば体育の授業は皆と受けるなど、いろいろ自由に選択できる。柔軟にできる範囲で対応している。



ゆうホールのゆうゆう広場

# 地域懇談会で出された質問に町から回答がありました

昨年11月13、18日に開催しました地域懇談会「ほんわかせっしょん」で出された質問に対し、町から回答がありましたのでお知らせします。

## Q 防災行政無線が聞こえない。

A 音声放送は、家の機密性やスピーカーからの距離、周辺の建物の状況、風雨などの影響で音声が届きにくい状況も発生する。

発信する情報は、登録することにより携帯電話などでメール受信ができる。

メール受信が難しい場合は電話やFAXによる受信が可能となる。

\*登録は久御山町役場総務課で。

## Q 災害時、自宅の方が安心か。避難する時は、自動車で移動するべきか。

A 屋外に出ることよりも自宅に居ることが安全な場合は、自宅に止まり、2階以上へ移ることなども避難となる。

自分が危険だと感じたら、避難指示などの発令や避難場所の開設を待たずに周囲の安全な場所に避難してほしい。移動手段は、基本的には徒歩になる。

## Q 聴覚障害者にはタブレット端末の支給などで受信システムの構築を(補聴器は電池式のため)。

A 町からの情報は、ホームページやLINEでも入手が可能。



京都府防災・防犯情報メールやNHKデータ放送などでも情報が入手できるので活用を。

## Q 集中豪雨時は、木津川と宇治川とでは流速が違うため、両河川の氾濫・決壊などを想定した高台への避難訓練が必要では。

A 地域の実情に応じた訓練となるよう防災組織と、協定締結の企業などとの連携も含め、検討していく。

## Q 地震の時、一人住まいの人の避難対策はできているのか。

A 避難行動要支援者名簿を作成し、避難時に不安だと思われる方への事前登録を勧めている。

## Q 大橋辺からは投票所まで1.5km。公民館で投票できないのか。

A 距離が遠い方もおられることは認識しているが、現段階では、投票所の数を増やすことは想定していない。今後の検討事項と考えている。

## Q 府道宇治淀線の大橋辺では大型トラックやトレーラーが通ると振動がきついが。

A 令和5年度は水道工事がおこなわれており、現在、府道宇治淀線についても一部工事が実施され、舗装は仮復旧の状態のため、舗装の段差が振動の原因と考えられる。



ゆうホールでの様子



議会主催の  
地域懇談会

ほんわかせっしょん

- ▶ 5月11日(土) ▶ 久御山町役場 5F  
午後2時～4時 コンベンションホール
- ▶ 5月14日(火) ▶ ゆうホール 2F  
午後7時～9時 交流ホール

お気軽にご参加を!

～みんなと一緒に語りませんか～

防災



子育て

人口減少

高齢者福祉

など...

保育ルーム、手話通訳、要約筆記をご希望の方は5月2日までにご連絡ください



主催：久御山町議会・問い合わせ：議会事務局 (075-631-9996・0774-45-0105)

# 視察報告

総務事業  
常任委員会

2月7日・8日

総務事業常任委員会は、令和6年2月7日、8日の日程で、埼玉県嵐山町、埼玉県ふじみの国際交流センターの視察研修をおこなった。

久御山町と災害時相互応援協定を結んでいる嵐山町では、「防災について」、ふじみの国際交流センターでは、町内における在住外国人が増加し、日常生活においても関わる機会が多くなった外国人との「多文化共生について」をテーマに、現地に赴き先進事例を学んだ。

嵐山町(埼玉県) 2月7日

嵐山町は、久御山町との自治体間において、令和元年11月4日に災害時相互応援協定を結んでいる、人口約1万7500人、面積約30km<sup>2</sup>の町である。

## ◆災害時相互応援協定

災害時相互応援協定とは、どちらかの自治体が被災した時に応急

対策及び復旧対策に係る相互応援をおこなう協定である。

大規模な地震や水害が発生した場合、近隣市町も同様に被災するため力を借りることはできない。遠方の自治体と協定を結ぶ意義はここにある。

はここにある。

○首都直下型地震では、震度5弱が想定されている

## ◆防災行政無線

嵐山町では平成4年度に55カ所に設置され、現在では58カ所となっている。

聞こえにくさの対処法としては無料テレホンサービスを実施している。東日本大震災の時に実施された計画停電の情報を防災無線で流した際に、それまでほとんどなかった住民からの「聞こえない」という苦情電話の数が圧倒され、すぐに予算70万円で4回線で始められた。

火災があった時にも活用されており、夜中でも発報される。最近

ではメールやホームページでも情報を確認できるシステムも取り入れている。



ふじみの国際交流センター 2月8日 (埼玉県)

ふじみの国際交流センターは1997年に準備会を発足し、2000年の1月にNPO法人として組織された。現在、ふじみ野市、富士見市、三芳町の在住外国人の生活相談窓口業務の委託を受けている。

○スタッフが献身的に運営している

## ◆外国人の「駆け込み寺」

現在埼玉県下には約22万人の外国人が暮らす。ふじみ野市には3132人、富士見市に3112人、

三芳町は984人、人口比率は平均3%程度。特定技能を身につけた方が家族とともに生活をされ、増えている。久御山町においては千人以上で、約6・6%となっている。

生活相談窓口は、毎週月曜日から金曜日まで開設。1年間で485件、1日2件以上の来訪がある。相談は、コロナ特例給付、ワクタン接種のほか、会社の就労待遇、パスポート、病院の手続き、子どもの教育、離婚やDVなどと多様となっている。フードバンク事業やマンツーマン体制の日本語教室も週2回開かれている。





## その後どうなったの?と 思っていることは?



- 久御山中央公園の今後について…グラウンドの整備はどうなるのですか（調整池）。
- 元会計年度任用職員による私的流用。スポーツ協会の会計の件。
- 『議会だより』を読んだ際、「これは調査中なのか」「検討されるのか」と思い、その後はどうなったのかは、いつわかるのか、質問された議員さんは検討後の結果をお聞きになることがあるのだろうか、と、毎回、疑問に思っている。

## 不明なこと・議会への 疑問・意見など



- 子育て支援「はぐくみ定期便」に関して、昨年まで利用させていただき大変助かった。同様に友人も多数喜んでおられたので、もっと幅広く続けてほしいと思う。逆に、このことを知らないという人もいたので、もっと宣伝してほしい。
- のってこタクシーの利用は、高齢者だけですか？
- 視察報告の内容がわかりにくく、説明不足である。
- 視察に来られた方の情報も、もっと欲しい。
- グラウンドが一時的に使用できなくなるのは、町民にとって残念ですが、前向きな検討なので安心した。
- 一般質問では、各議員が、「ここが聞きたい」ということを聞いていただいていることに感謝する。  
ただ、こども園、小・中学校の内容を質問される際は、教育現場における現状・現況をしっかり把握したうえで、質問をお願いしたい。

## 議会モニター「アンケート」

前号(NO.173)の議会モニター  
さまからのアンケートの回答(一  
部)を紹介します。

## 紙面全体で用語などわかり にくい点は?



- 総務事業、民生教育常任委員会の内容について、それぞれ何人で編成されているのか？違いは？
- 地域懇談会、防災に関する意見ばかりで、子育て(少子化)についての意見は出なかったのか？と思いました。
- 「ケアプランデータ連携システム」とは、どういう意味か。
- 文字が多い。図や用語集がほしい。
- 16頁の高台の建設に興味を持ちました。良い例になりましたら、順次、横展開していただけたらと思いました。
- 議会用語もあるとは思いますが、『議会だより』では、ある程度わかりやすく記載いただいていると思います。

\*ご協力をいただきありがとうございました。  
今後も「読みたくなる」編集をめざしてまいります。  
今後ともよろしく願いいたします。



## 編集後記

茶摘みの時期となり、山では新緑の景色が素晴らしい季節となりました。

また、まちには園児、児童、生徒やウォーキングを楽しむ私たちの元気な姿が見られ、にぎやかな声が聞こえてきます。

さて、議会の方では新体制2年目を迎えたところで、議員はそれぞれの立場で住民の皆さまのために働くべく、自己研さんを積んでいるところです。

本年度も皆さまに議会の活動や内容を分かりやすく発信してまいりたいと思います。

辻 徹

### 広報広聴委員会

委員長	中井 孝紀
副委員長	巽 悦子
委員	岩田 芳一
	大宮 竹志
	田井 稔 徹
	濱口 隆志
	松本 義裕

オブザーバー  
(議長)

# あがるく！頭を使って！ あきらめない！



認知症予防ゲーム  
ハートフルのメンバー

今回の「このまちこのひと」では、久御山町の認知症予防ゲームのボランティアサークルハートフルの取材をしました。

## 高齢化社会をなんとかしたい

約9年前に社会福祉協議会で認知症予防ゲームの講習会があり、「これで終わらせるのはもったいない」と、14人のメンバーでスタートされました。「みんなのためでもあり、自分のためでもあ

る」という思いで活動されています。

## 認知症予防ゲームとは

参加者全員が輪になり、自己紹介、他己紹介、指遊び、手遊び、雑談後の記憶力確認、そして腹話術などのイベントもあり、笑いが絶えない場所です。

取材当日は、ゆうホールにメンバー19名と参加者が20名以上、計30名以上の方々が集まっておられました。

## メンバーは研究熱心！

会長の滝沢さんは「メンバーが研究熱心であること、仲が非常に良いことが自慢」と胸を張っておられました。

メンバーは本を読んで研究し、勉強会も定期的におこなっていらっしやいます。



## 笑顔が一番！

「間違ったらあかんゲームではなく、頭と体を使うことが目的で、笑顔で人とコミュニケーションを取ることが重要」とメンバーの方が語ってくださいました。

持ち帰って家でもやってみる、そういう日頃の活動も大切とのことでした。



## 今後は活動を広げたい

今後はもっとメンバーを増やし、活動を広げ、各自治会などの要請があれば応えたいと考えておられるようです。自分に関係ないと思わず、認知症になる前に少しでも早く参加してほしいとのこと、現在メンバーを大募集されています！

(聞き手・広報広聴委員会)

表紙の「くみやま」を描いたのは高橋寛滋さんです。



高橋 寛滋さん  
(東角小学校 4年生)

表紙のデザインは、自然豊かな久御山町の青い空、草や木、鳥や虫のイメージがすぐに頭に浮かび作成することができたそうです。

寛滋さんは、算数と体育が大好きで、計算問題や持久走、走り幅跳びに一生懸命取り組んでいます。最近では大谷選手とのグローブで、友達とキャッチボールができて大変うれしかったと笑顔で答えてくれました。

休日はスイミングスクールに通い水泳の選手になりたいとのこと。将来は、「お父さんみたいな大工さんになって家を直したい」と元気よく話してくれました。